

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	関西総合リハビリテーション専門学校
設置者名	社会医療法人社団 順心会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	理学療法学科		93 単位	9 単位	
	作業療法学科		89 単位	9 単位	
	言語聴覚学科		79 単位	9 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>ホームページで公表している。</p> <p>理学療法学科：https://www.krc-net.jp/pdf/pt-exp-2025.pdf 作業療法学科：https://www.krc-net.jp/pdf/ot-exp-2025.pdf 言語聴覚学科：https://www.krc-net.jp/pdf/st-exp-2025.pdf</p>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	関西総合リハビリテーション専門学校
設置者名	社会医療法人社団 順心会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	運営会議
役割	本校の管理運営上、重要な事項を審議する。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
社会医療法人社団順心会 理事長	なし	医師、法人理事長
順心淡路病院 院長	なし	医師、実習病院院長
順心会法人本部 部長	なし	学校経営戦略担当部長
順心リハビリテーション病 院	なし	リハビリ部門人事統括管理担当 主席課長
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	関西総合リハビリテーション専門学校
設置者名	社会医療法人社団 順心会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>各授業における学習目標や目標達成のための授業の方法及び計画を明示するとともに、学生の授業への取組状況等を考慮した成績評価基準を定めた授業計画書(シラバス)を作成し、当該学期開始の一か月前を目途に学生サイボウズ(学生への情報伝達ツール)に掲載するとともにホームページで公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.krc-net.jp/syllabus/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>一の授業科目を履修した者に対しては、学習の成果等、総合的に評価して、試験の上、単位を与える。(ただし、専門分野の授業科目については、学修の成果を評価して単位を与えることができる。)2年次への進級認定は、1年次の専門基礎分野及び専門分野の科目をすべて単位修得した者について行い、専門基礎分野及び専門分野において1科目でも単位修得ができない場合は、学校が指定した科目をすべて再履修しなくてはならない。また、3年次への進級認定は、2年次の専門基礎分野及び専門分野の科目をすべて単位修得した者について行い、専門基礎分野及び専門分野において1科目でも単位修得ができない場合は、学校が指定した科目をすべて再履修しなくてはならない。2、3年の進級判定についても、卒業判定同様に運営会議の議を経て、校長が行う。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各授業科目の授業計画書(シラバス)に基づき、学修成果を総合的に評価し、下記の成績評価の基準により成績を評価し、成績管理一覧表にて成績順位、成績分布状況を把握している。成績評価の基準は、学生便覧に掲載するとともにホームページで公表している。</p> <p>(1) 優 80点～100点 (2) 良 70点～79点 (3) 可 60点～69点 (4) 不可 59点以下</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.krc-net.jp/syllabus/
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>下記のディプロマ・ポリシー(卒業認定に関する方針)を定め、ホームページで公表している。本校に3年以上在学し、本校所定のカリキュラムを修了するとともに卒業に必要な単位を取得し、次の資質や能力を身につけた者について、運営会議の議を経て、校長が卒業の認定を行う。</p> <p>1. 社会人としての規範やモラル、医療専門職としての高い倫理観や責任感を兼ね備えている。 2. チーム医療を実践するためのコミュニケーション能力や協調性を身につけている。 3. 疾病や障害を含む心身機能の評価が行え、総合的に解釈する能力を習得している。 4. 最新の情報を収集・分析し、科学的根拠に基づいた医療(Evidence Based Medicine)を実践するための方法を理解している。 5. 国家試験に合格できる知識及び思考力を習得している。 6. リハビリテーションの保健・医療・福祉分野における役割と、社会的責任について理解している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.krc-net.jp/greeting-idea/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	関西総合リハビリテーション専門学校
設置者名	社会医療法人社団 順心会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.junshin.or.jp/document/2024zaimu.pdf
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	理学療法学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,165/109 単位時間／単位	1,560/65 単位時間／単位	615/22 単位時間／単位	990/22 単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		108人	0人	6人	13人	19人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 学生便覧に記載のとおり実施している。
成績評価の基準・方法
（概要） 各授業における学習目標や目標達成のための授業の方法及び計画を明示するとともに、学生の授業への取組状況等を考慮した成績評価基準を定め、公表するものとし、一の授業科目を履修した者に対しては、学習の成果等、総合的に評価して、試験の上、単位を与える。ただし、専門分野の授業科目については、学修の成果を評価して単位を与えることができる。

卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業の認定は、本校に3年以上在学し、卒業に必要な単位を修得した者について、運営会議の議を経て、校長が行う。 2年次への進級認定は、1年次の専門基礎分野及び専門分野の科目をすべて単位修得した者について行い、専門基礎分野及び専門分野において1科目でも単位修得ができない場合は、学校が指定した科目をすべて再履修しなくてはならない。また、3年次への進級認定は、2年次の専門基礎分野及び専門分野の科目をすべて単位修得した者について行い、専門基礎分野及び専門分野において1科目でも単位修得ができない場合は、学校が指定した科目をすべて再履修しなくてはならない。2、3年の進級判定についても、卒業判定同様に運営会議の議を経て、校長が行う。
学修支援等
(概要) 入学直後から基礎知識習得と学習習慣構築のため、基礎知識を小テストなどの反復学習を実施している。また全学生に対して面談を行いながら、学習困難者の把握に努めている。個別学習指導が必要な学生に、時間と場所を設けている。臨床実習では、電話による個別相談ができる体制を作っており、成績不良者には系列施設において実習指導者と教員が連携して指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
32人 (100%)	0人 (0%)	30人 (93.8%)	2人 (6.2%)
(主な就職、業界等) 病院、介護老人保健施設			
(就職指導内容) 就職説明会(年1回)・就職の心得ガイダンス(年1回)の開催、履歴書添削、面接指導			
(主な学修成果(資格・検定等)) 理学療法士国家試験受験資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
113人	13人	11.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更、成績不振、病気、モチベーションの低下		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止：個別面談・補講の実施、学費分納・延納の実施 中退者支援：グループ施設への就職斡旋		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	関西総合リハビリテーション専門学校
設置者名	社会医療法人社団 順心会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.junshin.or.jp/document/2024zaimu.pdf
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	作業療法学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,225/105 単位時間／単位	1,650/64 単位時間／単位	540/18 単位時間／単位	1,035/23 単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		59人	0人	6人	11人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 学生便覧に記載のとおり実施している。
成績評価の基準・方法
（概要） 各授業における学習目標や目標達成のための授業の方法及び計画を明示するとともに、学生の授業への取組状況等を考慮した成績評価基準を定め、公表するものとし、一の授業科目を履修した者に対しては、学習の成果等、総合的に評価して、試験の上、単位を与える。ただし、専門分野の授業科目については、学修の成果を評価して単位を与えることができる。

卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>卒業の認定は、本校に3年以上在学し、卒業に必要な単位を修得した者について、運営会議の議を経て、校長が行う。</p> <p>2年次への進級認定は、1年次の専門基礎分野及び専門分野の科目をすべて単位修得した者について行い、専門基礎分野及び専門分野において1科目でも単位修得ができない場合は、学校が指定した科目をすべて再履修しなくてはならない。また、3年次への進級認定は、2年次の専門基礎分野及び専門分野の科目をすべて単位修得した者について行い、専門基礎分野及び専門分野において1科目でも単位修得ができない場合は、学校が指定した科目をすべて再履修しなくてはならない。2、3年の進級判定についても、卒業判定同様に運営会議の議を経て、校長が行う。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>入学直後から基礎知識習得と学習習慣構築のため、基礎知識を小テストなどの反復学習を実施している。また全学生に対して面談を行いながら、学習困難者の把握に努めている。個別学習指導が必要な学生に、時間と場所を設けている。臨床実習では、電話による個別相談ができる体制を作っており、成績不良者には系列施設において実習指導者と教員が連携して指導を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17人 (100%)	0人 (0%)	16人 (94.1%)	1人 (5.9%)
(主な就職、業界等) 病院、介護老人保健施設			
(就職指導内容) 就職説明会（年1回）・就職の心得ガイダンス（年1回）の開催、履歴書添削、面接指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 作業療法士国家試験受験資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
65人	2人	3.1%
(中途退学の主な理由) 成績不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止：個別面談・補講の実施、学費分納・延納の実施 中退者支援：グループ施設への就職斡旋		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	関西総合リハビリテーション専門学校
設置者名	社会医療法人社団 順心会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.junshin.or.jp/document/2024zaimu.pdf
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	言語聴覚学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,345/108 単位時間／単位	2,445/84 単位時間／単位	300/9 単位時間／単位	600/15 単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		44人	0人	5人	5人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 学生便覧に記載のとおり実施している。
成績評価の基準・方法
（概要） 各授業における学習目標や目標達成のための授業の方法及び計画を明示するとともに、学生の授業への取組状況等を考慮した成績評価基準を定め、公表するものとし、一の授業科目を履修した者に対しては、学習の成果等、総合的に評価して、試験の上、単位を与える。ただし、専門分野の授業科目については、学修の成果を評価して単位を与えることができる。

卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>卒業の認定は、本校に3年以上在学し、卒業に必要な単位を修得した者について、運営会議の議を経て、校長が行う。</p> <p>2年次への進級認定は、1年次の専門基礎分野及び専門分野の科目をすべて単位修得した者について行い、専門基礎分野及び専門分野において1科目でも単位修得ができない場合は、学校が指定した科目をすべて再履修しなくてはならない。また、3年次への進級認定は、2年次の専門基礎分野及び専門分野の科目をすべて単位修得した者について行い、専門基礎分野及び専門分野において1科目でも単位修得ができない場合は、学校が指定した科目をすべて再履修しなくてはならない。2、3年の進級判定についても、卒業判定同様に運営会議の議を経て、校長が行う。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>入学直後から基礎知識習得と学習習慣構築のため、基礎知識を小テストなどの反復学習を実施している。また全学生に対して面談を行いながら、学習困難者の把握に努めている。個別学習指導が必要な学生に、時間と場所を設けている。臨床実習では、電話による個別相談ができる体制を作っており、成績不良者には系列施設において実習指導者と教員が連携して指導を行っている。また、学生・親御様の相談に対して時間を設けるようにしている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15人 (100%)	0人 (%)	11人 (73.3%)	4人 (26.7%)
(主な就職、業界等) 病院			
(就職指導内容) 就職説明会（年1回）・就職の心得ガイダンス（年1回）の開催、履歴書添削、面接指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 言語聴覚士国家試験受験資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
49人	1人	2%
(中途退学の主な理由) 成績不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止：個別面談・補講の実施、学費分納・延納の実施 中退者支援：グループ施設への就職斡旋		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理学療法学科	500,000 円	650,000 円	600,000 円	施設整備費, 施設実習費、休学中の在籍料
作業療法学科	500,000 円	620,000 円	600,000 円	施設整備費, 施設実習費、休学中の在籍料
言語聴覚学科	500,000 円	620,000 円	600,000 円	施設整備費, 施設実習費、休学中の在籍料
修学支援 (任意記載事項)				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 順心会修学支援制度 ・ 特待生入試制度 ・ 地域特別枠推薦入試制度 ・ 順心会修学資金貸与制度 ・ 学業成績優秀者給付奨学金制度 ・ 順心会/のじぎく福祉会内部進学入学金等免除制度 				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ・ 自己点検・評価報告書 https://www.krc-net.jp/pdf/2025er.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) ・ 主な評価項目 (教育課程、進路指導、自己点検・自己評価結果に関すること) ・ 評価委員会の構成 (5名以上7名以下、業界関係者、卒業生、地域住民、中学校・高等学校の校長、地方公共団体の関係者等) ・ 評価結果の活用方法 (校長は、改善等が必要なものについては、これに努める。)		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
淡路市役所	2年	地域の地方公共団体等の関係者
兵庫県立あわじ特別支援学校	2年	中学・高等学校等の校長
淡路圏域地域リハビリテーション支援センター	2年	専門分野における業界関係者
順心淡路病院	2年	卒業生
学生保護者	2年	保護者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ・ 学校関係者評価報告書 https://www.krc-net.jp/pdf/2024er.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		
一般社団法人リハビリテーション教育評価機構 評価結果 https://www.krc-net.jp/jouhoukoukai/#list03_02		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.krc-net.jp/
